

情報モラル指導モデルカリキュラム表

<大目標・中目標レベル>

分類	L1：小学校1～2年	L2：小学校3～4年	L3：小学校5～6年
1. 情報社会の倫理	a1～3：発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ		
	a1-1：約束や決まりを守る	a2-1：相手への影響を考慮して行動する	a3-1：他人や社会への影響を考慮して行動する
	b1～3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する		
	b1-1：人の作ったものを大切に する心をもつ	b2-1：自分の情報や他人の情報を大切に する	b3-1：情報にも、自他の権利があることを知り、 尊重する
2. 法の理解と遵守	c2～3：情報社会でのルール・マナーを遵守できる		
		c2-1：情報の発信や情報をやりとりする 場合のルール・マナーを知り、守る	c3-1：何がルール・マナーに反する行為かを知り、 絶対に行わない
			c3-2：「ルールや決まりを守る」ということ の社会的意味を知り、尊重する
			c3-3：契約行為の意味を知り、勝手な 判断で行わない
3. 安全への知恵	d1～3：情報社会の危険から身を守るとともに、 不適切な情報に対応できる		
	d1-1：大人と一緒に使い、危険に 近づかない	d2-1：危険に出合ったときは、大人に 意見を求め、適切に対応する	d3-1：予測される危険の内容が わかり、避ける
	d1-2：不適切な情報に出合わない 環境で利用する	d2-2：不適切な情報に出合った ときは、大人に意見を求め、 適切に対応する	d3-2：不適切な情報であるもの を認識し、対応できる
	e1～3：情報を正しく安全に利用することに 努める		
	e1-2：知らない人に、連絡先を 教えない	e2-1：情報には誤ったものもある ことに気づく	e3-1：情報の正確さを判断する 方法を知る
	e2-2：個人の情報は、他人にも らさない	e3-2：自他の個人情報を、第三 者にもらさない	
	f1～3：安全や健康を害するような行動を 抑制できる		
	f1-1：決められた利用の時間や 約束を守る	f2-1：健康のために利用時間を 決め守る	f3-1：健康を害するような行動 を自制する
		f3-2：人の安全を脅かす行為を 行わない	
4. 情報セキュリティ	g2～3：生活の中で必要となる情報セキュリティの 基本を知る		
		g2-1：認証の重要性を理解し、 正しく利用できる	g3-1：不正使用や不正アクセスさ れないように利用できる
	h3：情報セキュリティの確保の ために、対策・対応がとれる		
		h3-1：情報の破壊や流出を守る 方法を知る	
5. 公共的なネットワーク 社会の構築	i2～3：情報社会の一員として、公共的な 意識を持つ		
		i2-1：協力し合ってネットワー クを使う	i3-1：ネットワークは共用のもの であるという意識を持って使う

※コードについて（例，a1-1）

【1桁目の文字】

a～i：大目標項目

【2桁目の数字】

校種・学年（L1～L5）

1：L1（小学校低学年：1～2年生）

2：L2（小学校中学年：3～4年生）

3：L3（小学校高学年：5～6年生）

4：L4（中学校（高等学校を含む場合もある））

5：L5（高等学校）